

フッリデーション(水道水フッ化物濃度調整) についての啓発活動

公益社団法人 富岡甘楽歯科医師会
副会長 萩原 吉 則

〒370-2343 群馬県富岡市七日市640-1 富岡甘楽口腔保健センター
TEL 0274-62-1706 FAX 0274-64-1646 E-mail tkda@tkda.jp

公益社団法人富岡甘楽歯科医師会の萩原と申します。よろしくお願いします。



富岡甘楽地区は、群馬県の南西部に位置し、富岡市、甘楽町、下仁田町、南牧村で構成され、地区内の人口は約76,000 人です。

公益社団法人富岡甘楽歯科医師会の歴史

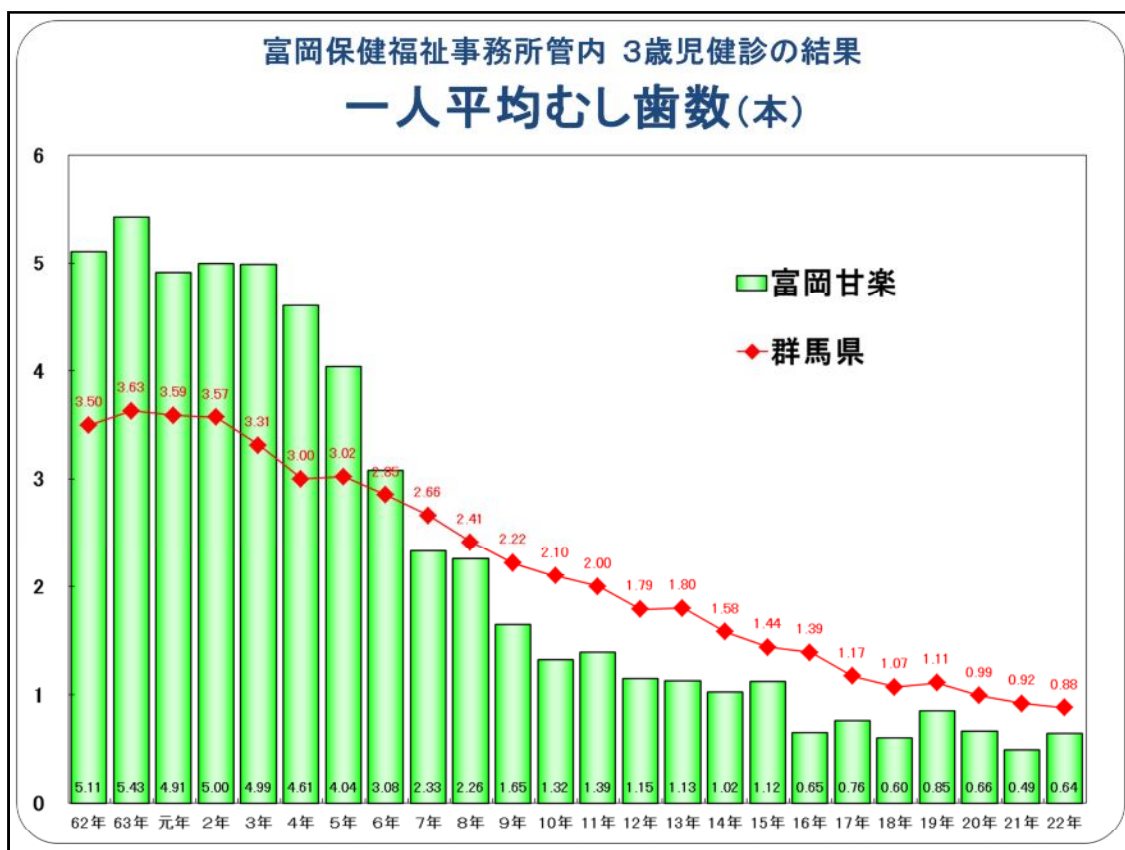
- 昭和59年 **社団法人富岡甘楽歯科医師会**を設立
- 昭和61年11月 甘楽町の公立4幼稚園で**フッ化物洗口**を開始
- 昭和63年 下仁田町の幼児健診で**フッ化物歯面塗布**を開始
- 平成4年 **富岡甘楽口腔保健センター**を建設し事務局を置く
休日診療と歯科訪問診療を歯科医師会として開始
- 平成5年 歯科保健活動の目標「**各ライフステージにおける歯科保健対策**」
- 平成6年10月 **心身障害者(児)診療**を開始
- 平成15～18年度 下仁田町へ歯科保健活動事業助成交付
- 平成19～23年度 富岡甘楽歯科医師会へ**歯科保健活動事業助成交付**
フロリデーション啓発活動を継続
- 平成22年11月 **在宅歯科医療連携室**を開設【県の委託事業】
- 平成23年11月 厚生労働大臣表彰(団体)を受賞
- 平成24年4月 **公益社団法人**へ移行 現在会員数 34名
事務局 常勤歯科衛生士3名、事務職1名
非常勤歯科衛生士 約10名

富岡甘楽歯科医師会は、昭和59年に社団法人を設立しました。

平成4年に富岡甘楽口腔保健センターを建設し、「各ライフステージにおける歯科保健対策」を立案し、一生涯を通した歯科保健対策の確立を目指してきました。

今年4月に、公益社団法人に移行しました。

会員数は現在34名、常勤職員4名、非常勤歯科衛生士約10名で事業を継続しています。

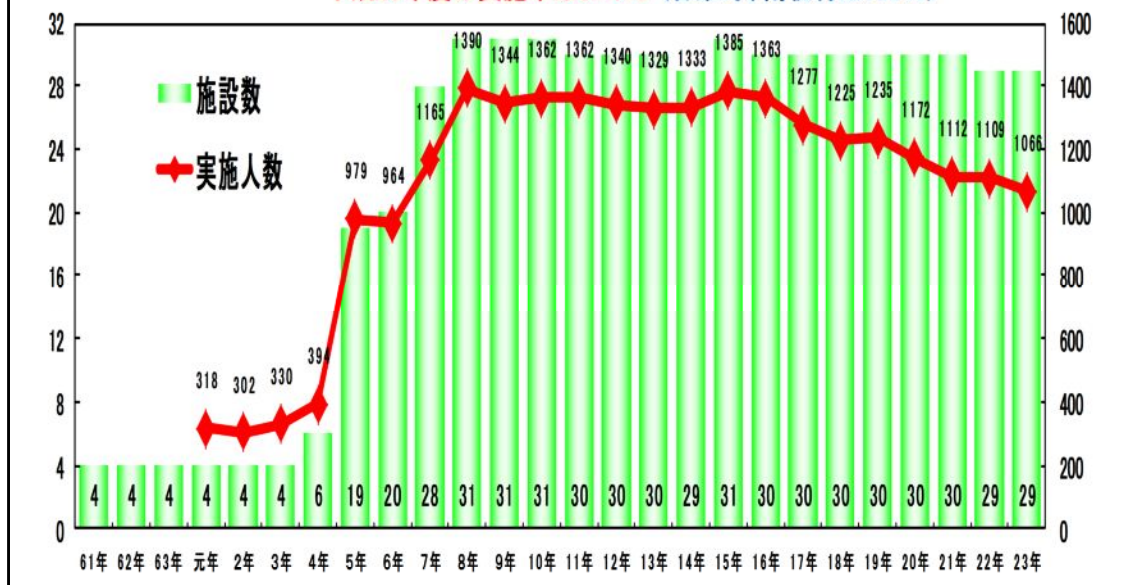


これまで富岡甘楽地区の歯科保健対策は、確実に成果をあげてきました。
例えば、平成5年度までに、全市町村で乳歯のむし歯予防対策が実施され、定期的なフッ化物歯面塗布と「家庭でのフッ化物利用」が普及したため、3歳児のむし歯は大幅に減少しました。

富岡甘楽地区 幼稚園・保育所・幼児園 フッ素洗口実施施設数と実施人数

平成11年、14年、16年、22年度は廃園により 施設数が減少
園児数の減少により 実施人数が減少傾向

平成23年度の実施率は97.4% (甘楽町、南牧村は100%)



幼稚園、保育園のフッ化物洗口は97%以上の高い実施率で継続されていますが、教育委員会と学校の抵抗が強く、小中学校では実施できない状態が続いています。現在、町の予算で洗口液を配布し、家庭でフッ化物洗口を実施する方法や、学童保育所でフッ化物洗口が実施されています。

フロリデーション啓発事業

リーフレット作成

モデル
装置



ふうせん作成



ポスター作製



富岡甘楽歯科医師会は、平成19年度から23年度まで5年連続で、8020推進財団から歯科保健活動助成の交付を受け、フロリデーション啓発活動を行っています。

今回は、平成22年度事業報告を中心に、約10年間の経緯も含めて事業の内容を説明いたします。

フロリデーション啓発活動の実施組織

- 富岡甘楽歯科医師会
- 富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
- 下仁田町健康づくり推進協議会
- 下仁田町保健推進員協議会
- 下仁田町フロリデーション推進会議、住民組織等
- 厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」
- 日本口腔衛生学会(学術支援)
- 富岡保健福祉事務所の技術的支援を要請

事業の実施組織は、歯科医師会を中心に、市町村と下仁田町フロリデーション推進会議などの住民組織です。

平成21年度から23年度までの3年間は、厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」の直接的支援を受けることができました。

日本口腔衛生学会には、学術支援を要請しました。

富岡保健福祉事務所には、技術的支援を要請しています。

フロリデーション啓発事業の目的

- 富岡甘楽歯科医師会は、WHO(世界保健機関)が推奨する最も優れた公衆衛生的なむし歯予防対策であるフロリデーションを、富岡甘楽地区に普及させたいと考えている。
- フロリデーションが実施されれば、子供から高齢者まで、給水地域で生活する住民すべてが、生涯を通じてむし歯予防の恩恵を受けることが可能になり、健康格差の解消にもつながる。
- フロリデーションの実施により、むし歯が大幅に減少すれば、国が提唱する8020運動の実現に大きく貢献する。
- さらに、歯が残り咀嚼力が保持されることは、全身的な病気の予防や健康増進にもつながり、将来は医療費の抑制に結びつくと考えられる。

事業の目的です。

富岡甘楽歯科医師会は、WHOが推奨する最も優れた公衆衛生的なむし歯予防対策であるフロリデーションを、富岡甘楽地区に普及させたいと考えています。

フロリデーションが実施されれば、子供から高齢者まで、給水地域で生活する住民すべてが、生涯を通じてむし歯予防の恩恵を受けることが可能になり、健康格差の解消にもつながります。

フロリデーションの実施により、むし歯が大幅に減少すれば、国が提唱する8020運動の実現に大きく貢献します。

さらに、歯が残り咀嚼力が保持されることは、全身的な病気の予防や健康増進にもつながり、将来は医療費の抑制に結びつくと考えられます。

ただし、実施のためには、住民の理解と協力が必要となりますので、そのために情報提供が重要になります。

フロリデーション普及啓発事業までの経緯

現在の活動に至るまでの経緯の概略を説明します。

平成11年度群馬県歯科保健賞受賞記念

歯科保健シンポジウムin甘楽

テーマ「一生自分の歯で食べるために」

日時 平成12年6月25日(日) 午後1時30分～4時30分

主催 甘楽町

共催 富岡甘楽歯科医師会／富岡保健福祉事務所

■ コーディネーター

馬場錬成 氏〔読売新聞社 論説委員〕

■ シンポジスト

境 脩 氏〔福岡歯科大学教授〕

小原博人 氏〔毎日新聞社 編集委員〕

村田幸子 氏〔NHK 解説委員〕

萩原吉則 〔富岡甘楽歯科医師会 専務理事〕

フロリデーションへの理解深まる

甘楽町は、歯科保健への取り組みが評価され、平成11年度の「群馬県歯科保健賞」を行政として初めて受賞しました。

平成12年6月、この受賞を記念してシンポジウムを開催しました。

読売新聞社の馬場錬成論説委員をコーディネーターに、福岡歯科大学の境脩教授、毎日新聞社の小原博人編集委員、NHKの村田幸子解説委員、富岡甘楽歯科医師会から私が参加しました。

フッ化物の利用やフロリデーションの必要性について意見が一致し、一般参加者の共感も得られました。



このシンポジウムには、下仁田町からも多数参加していて、その後の活動へとつながっていきます。

上水道への適量のフッ化物添加を求める請願書

社団法人富岡甘楽歯科医師会は、甘楽町議会宛に、平成12年8月31日付で「上水道への適量のフッ化物添加を求める請願書」を提出した。

要 旨

上水道へのフッ化物添加〔水道水フッ素化〕は、最も優れたむし歯予防法として、現在56か国で実施され、3億人以上がその恩恵を受けている。甘楽町においても、実施可能な施設から、速やかに水道水フッ素化を実施していただきたい。

理 由

〔①～⑦ 略〕

シンポジウムの結果を受け、富岡甘楽歯科医師会は、平成12年8月に「上水道への適量のフッ化物添加を求める請願書」を甘楽町議会宛に提出しましたが、2回の継続審議の末、時期尚早という理由で不採択になりました。

韓国フロリデーション施設の視察研修

- 主 催 社団法人富岡甘楽歯科医師会
- 日 程 平成12年10月22日～24日
- 参加者 20名
- 陝川の浄水場の施設（フロリデーションの設備）を見学
 - 給水人口 約11,000人の陝川で研修
 - 釜山大学 金 鎮範 教授からの説明

その間、平成12年10月には、富岡甘楽歯科医師会主催で韓国のフロリデーション視察研修が実施され、議員、保健師、歯科医師、歯科衛生士など20名が参加しました。陝川の浄水場のフロリデーション施設を見学し、釜山大学の金鎮範教授から説明を受けました。

下仁田町 むし歯予防対策活動の歴史

- 昭和63年度 幼児健診に **フッ化物歯面塗布プログラム**
- 平成5年度 町内全保育園で **フッ化物洗口**
- 平成10年度 **小中学生の家庭におけるフッ化物洗口(町の予算)**
- 平成14年度 **「健康しもにた21」計画の策定**
- 平成15年度～18年度 **健康しもにた21「8020」推進基盤整備事業に8020推進財団から歯科保健活動助成が交付**
- 平成15年6月 平成14年度群馬県歯科保健賞受賞記念シンポジウム
8月 **健康しもにた21「8020」推進委員会**を組織
- 平成16年3月 8020推進委員会 **フロリデーション推進についての提言**
- 平成17年1月 フロリデーションのパンフレット制作 全世帯に配布
4月 **下仁田町フロリデーション推進会議** 発足
7月 **フロリデーションモデル装置を設置**

下仁田町は、平成14年度に「健康しもにた21」計画を策定し、平成15年6月に、歯科保健賞受賞記念のシンポジウムを開催しました。

下仁田町の「8020推進基盤整備事業」に対して、平成15年度から18年度まで4年連続で歯科保健活動助成が交付されました。

事業の目的は、「フロリデーションが受け入れられる環境を整備する」ことです。

健康づくり推進協議会の専門部会として「健康しもにた21『8020』推進委員会」が組織されました。

平成16年3月に、委員会は「フロリデーションが、有効性、安全性、実用性において、各種フッ化物応用の中で最も優れた公衆衛生的な方法である」とこと、「実施にあたっては、住民に科学的根拠に基づく正確な情報を十分に提供し、住民の理解協力を得る必要がある」とこの2点を趣旨とする提言を提出しました。

平成16年度には、住民の理解協力を得るため媒体として、日本口腔衛生学会監修のパンフレットが完成しました。

平成17年4月には、フロリデーション推進にかかわってきた歯科医師、薬剤師、歯科衛生士の専門職を中心に、「下仁田町フロリデーション推進会議」が発足し、歯科医師会と連携しながら活動を続けています。

7月には、厚生労働科学研究班の技術支援を受け、ふれあいセンターに「フロリデーションモデル装置」が設置されました。

フロリデーションの現状

世界 61 か国で行われています。

世界の 61 か国、3 億 5600 万人の人たちが、フッ素の含まれた飲み水によって、むし歯予防の恩恵に浴しています。これらの国々では、天然に微量のフッ素が含まれていたり、フッ素が不足している地域では、フッ化物の濃度を調整して利用しています。

給水人口の半数以上に調整プログラムを利用している国と地域があります。

下記の国と地域では、給水人口の半数以上がフッ化物濃度の調整された水を利用しています。(1998 年)

- ・シンガポール(100%)
- ・香港特別行政区(100%)
- ・マレーシア(70.0%)
- ・アイルランド(70.4%)
- ・オーストラリア(67.0%)
- ・ニュージーランド(64.0%)
- ・アメリカ合衆国(66.5%)(2001 年)

お隣の韓国でも普及中です。

韓国では、2004 年 7 月現在、フロリデーションが 28 都市、約 321 万人(人口の約 7%)に普及しています。法律「口腔保健法」を作って推進しています。また市民のネットワーク作りも盛んに行われています。

世界の専門機関が推奨しています。

- ・WHO(世界保健機関)
- ・アメリカ医師会
- ・FDI(国際歯科連盟)
- ・アメリカ歯科医師会
- ・アメリカ公衆衛生局
- ・世界各国の保健局と保健機関

日本の専門機関も支持しています。

- ・日本歯科医師会
- ・日本歯科医学会
- ・日本口腔衛生学会
- ・厚生労働省

厚生労働省は地域の要請に応じて技術支援を表明しています。

21 世紀は日本でも
— みんなが平等に利用できること —



(中野厚生文化フォト)



Fluoridation Facts. American Dental Association 1980 年より。

だれにでもできる
ちい こそよく
小さな努力で
たし こうか
確かな効果

それが フロリデーション！

「フッ素で健康づくり」(称書原)より

みんなのためのむし歯予防方法

フロリデーション (水道水フッ化物濃度調整)



健康はみんなの願いです

発行
群馬県下仁田町
tel 0274-82-5490

鉾田富岡甘楽歯科医師会
tel 0274-82-1706

監修
日本口腔衛生学会

2006 年 1 月作成

日本口腔衛生学会監修のパンフレットです。これは、下仁田町の全世帯に配布されました。



ふれあいセンターに設置された「フロリデーションモデル装置」です。



町長など関係者約40名が参加して行われた完成報告会の様子です。

フロリデーションの実施をめざした活動〔平成18、19年〕

- **平成18年3月** フロリデーション推進会議が提出した「フロリデーションの普及啓発活動の推進に関する陳情書」を下仁田町議会が趣旨採択
- **6月** 富岡甘楽歯科医師会とフロリデーション推進会議が連名の要望書を提出
- **7月** 下仁田町議会 フロリデーション説明会
- **8月** 町職員 フロリデーション研修会
- **10月** 保健推進員の研修会
- **平成19年2月** 「フロリデーションの早期実施を求める陳情書」を下仁田町フロリデーション推進会議と富岡甘楽歯科医師会が連名で提出
平成19年3月 継続審議 平成19年6月 審議されず廃案
- **3月初旬** フロリデーションの実施を求める下仁田町民 266名が連名で、下仁田町長と議長宛に要望書を自主的に提出し、陳情書の採択を求める活動を開始

フロリデーション推進会議が提出した「フロリデーションの普及をめざした啓発活動の推進に関する陳情書」が、平成18年3月の下仁田町議会で趣旨採択になりました。そこで、6月に富岡甘楽歯科医師会とフロリデーション推進会議の連名で要望書を提出し、議会、町職員、保健推進員の研修会などを開催しました。

平成19年2月、フロリデーション推進会議と歯科医師会は、「フロリデーションの早期実施を求める陳情書」を町議会に提出しました。

3月初旬に、フロリデーションの実施を求める町民 266名が連名で、町長と議長宛に要望書を自主的に提出し、陳情書の採択を求める活動を始めました。

陳情書は3月議会で継続審議になり、6月議会で審議されなかったため採択に至りませんでした。この住民の自主的な支援は、その後の歯科医師会の活動のよりどころになっています。

また、要望書提出の中心になった人たちは、フロリデーション推進会議に参加し、下仁田町内で現在も地道な活動を継続しています。

フロリデーションについての啓発活動 平成22年度の事業内容

富岡甘楽歯科医師会は、平成19年度から平成23年度まで5年連続で
歯科保健活動助成の交付を受け、下仁田町での活動を継続しながら、
管内他市町村の住民を対象にした啓発活動に積極的に取り組んでいる。

平成22年度は、フロリデーションの実施をめざした啓発活動の一環とし
て、市町村や関係団体と連携して以下の事業を実施した。

平成19年度からは、富岡甘楽歯科医師会が主体となり、5年連続で歯科保健活動助成の交付を受け、下仁田町での活動を継続しながら、他市町村の住民を対象にした啓発活動に取り組んでいます。

平成22年度の活動について説明します。

(1)歯の衛生週間対外行事「歯の健康フェア2010」の開催

日時 平成22年6月6日（日）午前10時から午後3時

会場 富岡甘楽口腔保健センター

主催 (社)富岡甘楽歯科医師会

共催 富岡保健福祉事務所・富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町

協力 群馬県歯科衛生士会 西毛支部

主催者側参加者 約60人

来場者数 約400名



「歯の健康フェア2010」フロリデーションコーナーの様子(左)と主催者側の参加者(右)

富岡甘楽歯科医師会は、毎年6月の第1日曜日に歯の衛生週間行事として、「歯の健康フェア」を開催しています。

フロリデーションコーナーを設け、ポスターの掲示、リーフレットの配布、フロリデーション水の試飲等を通して、来場者に情報提供を行っています。

(2) リーフレット 「フロリデーショ 水道水とフッ化物でみんなの 歯を健康に」を発行

発行 富岡甘楽歯科医師会

監修 厚生労働科学研究「フッ化物
応用の総合的研究班」

平成23年3月に制作し、6月には、
管内4市町村の協力により、広報と
一緒に全世帯(約28,000)に配布した



平成23年3月に、厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」監修のリーフレット「フロリデーショ 水道水とフッ化物でみんなの歯を健康に」を制作しました。6月には、管内市町村の協力により、広報と一緒に全世帯に配布しました。

(3) リーフレット 「フッ化物でむし歯を減らす いろいろな方法」を全世帯に 配布

発行 富岡甘楽歯科医師会

監修 厚生労働科学研究「フッ化物
応用の総合的研究班」

平成22年3月に制作し、5月には、
管内4市町村の協力により、広報
と一緒に全世帯(約28,000)に配布
した。

各種事業において、フロリデー
ション啓発用資料として継続的に
利用している。

私たちがフロリデーションを 始めてみませんか？

フロリデーションとは、歯の表面にフッ素を塗布してむし歯を予防する効果のある方法です。歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を強化し、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。また、歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を滑らかにし、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。また、歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を滑らかにし、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。

- フロリデーションは簡単です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。
- フロリデーションは安全です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。
- フロリデーションは効果的です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。
- フロリデーションは継続的です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。
- フロリデーションは継続的です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。
- フロリデーションは継続的です。歯の表面にフッ素を塗布するだけです。

フッ化物で むし歯を減らす いろいろな方法



口腔保健とフッ化物の応用

フロリデーションとは、歯の表面にフッ素を塗布してむし歯を予防する効果のある方法です。歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を強化し、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。また、歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を滑らかにし、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。

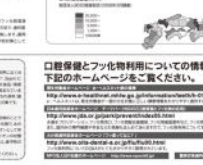
世界における フッ化物利用の普及状況 1990年と2000年の比較

フロリデーションとは、歯の表面にフッ素を塗布してむし歯を予防する効果のある方法です。歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を強化し、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。また、歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を滑らかにし、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。

いろいろなフッ化物応用法

フロリデーションとは、歯の表面にフッ素を塗布してむし歯を予防する効果のある方法です。歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を強化し、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。また、歯の表面にフッ素を塗布することで、歯の表面を滑らかにし、むし歯の原因となる酸から歯を守ります。

新設自治体の自治体人口増加率 2005年



口腔保健とフッ化物利用についての情報を詳しく知りたい方は 下記のホームページをご覧ください。

- http://www.fda.go.jp/consumer/food_drug/fluoride/
- http://www.fda.go.jp/consumer/food_drug/fluoride/
- http://www.fda.go.jp/consumer/food_drug/fluoride/

平成22年3月に制作したリーフレット「フッ化物で むし歯を減らす いろいろな方法」を、5月に全世帯に配布しました。

(4)フロリデーション啓発用の風船の制作と配布

下仁田町商工会主催の夏祭り(8月14日)

南牧村健康祭(11月14日)

ぐんま食育フェスタin富岡(11月21日 参加者約9,600人)

甘楽町健康祭(11月28日)などで配布



風船の写真



歯科衛生士がデザインした風船の原画

フロリデーション啓発用の風船を制作しました。

当会勤務の歯科衛生士がデザインした原画を利用したものです。

初回は、500個購入し、その後も、必要に応じて追加購入して各種イベントで利用しています。

風船は、子供たちに大変人気があり、フロリデーションの認知度を上げるための媒体として効果的だと考えています。

(6)フロリデーション啓発ポスターの掲示（平成19年度事業からの継続）

平成19年11月に、フロリデーション啓発ポスター「知っていますか？ フロリデーション」（B2版 片面カラー）を4種類制作（各500枚印刷）したが、今年度も引き続きを啓発活動に利用している。

掲示場所の増加や古くなったポスターの交換に努めている。



平成19年11月に、ポスターを4種類制作し、各500枚印刷しましたが、22年度も引き続きを啓発活動に利用しています。

ポスターは、市町村保健センターなどの公共施設、会員の歯科診療所などに掲示されていますが、掲示場所の増加や古くなったポスターの交換に努めています。

(7)チラシ「知っていますか？ フロリデーション」の配布 (平成19年度事業からの継続)

知っていますか？
フロリデーション

水道水を飲むだけで
「むし歯予防」になる方法です。

フロリデーションは、自然の状態で水に含まれているフッ素を、人の歯の表面むし歯予防に役立つように、水道水のフッ素濃度を調整する方法です。

「水道水フッ素化濃度調整」という意味になります。

フロリデーションは、自然の状態で水に含まれているフッ素を、人の歯の表面むし歯予防に役立つように、水道水のフッ素濃度を調整する方法です。

すでに活用している国は、約100カ国。フッ素の含まれた飲み水により、4人以上がむし歯予防の恩恵を受けています。

安全！
効果的！
経済的！

さあ、私達もはじめよう。 社団法人 富岡甘楽歯科医師会
TEL.0274-62-1706

知っていますか？ フロリデーション

「フロリデーション」という言葉を初めて耳にする方もいらっしゃると思います。この言葉を日本語に要約すると「水道水フッ素化濃度調整」という意味になります。フロリデーションは、自然の状態で水に含まれているフッ素を、人の歯の健康、むし歯予防に役立つように、水道水中のフッ素濃度を調整する方法です。すでに実用化している国は61か国。フッ素の含まれた飲み水により、4人以上がむし歯予防の恩恵を受けています。富岡水系の水には0.1ppm程度のフッ素が含まれていますが、フロリデーションを実施する場合に0.7～0.8ppmにフッ素濃度を調整します。(ppmは100万分の1、微量な量の単位)

- フロリデーションは効果的です。**
子供から大人まで高いむし歯予防効果(40～60%)をあげることができます。このプログラムが導入され続けられると、水道水を飲用するだけで、一生進むむし歯予防の効果が持続します。さらに、フッ素配合歯磨剤、フッ素塗布剤などの歯科用品と併用すると、効果効果が倍増します。
- フロリデーションは安全です。**
フロリデーションは、科学的根拠に基づいた最新のむし歯予防法であり、1945年に米国とカナダで開始されたから約60年以上の実績があります。多くの科学的研究が示す通り、安全性が確認されています。
- フロリデーションは経済的です。**
1人当たり年間約50円(50セント)と格安です(米国の1人当たりの費用を準拠)。これを日本に当てはめると、1本のむし歯の平均治療費がおよそ5,000円ですので、1本分の治療費で生涯にわたるむし歯予防ができることになります。
- フロリデーションは簡単です。**
健康な生活を営むだけでむし歯予防する事ができます。むし歯予防のために特別な努力を必要としません。
- フロリデーションは公平な方法です。**
老若男女、その他の差を問わず、歯の健康に寄り添う権利のない人、障壁を持つ人などすべての人のむし歯予防に役立ちます。たれでも、小さな努力で、確かな効果を期待することができる平等・公平な方法です。
- フロリデーションは推奨されています。**
フロリデーションは、WHO(世界保健機関)、FDI(国際歯科連盟)など、世界の専門機関により推奨されています。また国内では、日本歯科医師会、日本口腔衛生学会など専門団体により支持されています。厚生労働省は地域の健康に役立てて社会貢献を求めています。
- さあ、私達もはじめよう。**
富岡甘楽歯科医師会、最も優れた公衆衛生的むし歯予防法であるフロリデーションを、富岡甘楽地区に普及させ、地域全体のむし歯を減らしたいと考えています。そのため、まず適切な情報を十分に提供し、市民の理解の増進と賛同を得ることが第一となります。今後もフロリデーションについて科学的な情報のある情報を継続的に提供していきたいと思っておりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

発行：(社)富岡甘楽歯科医師会 富岡市富岡七丁目645-1 TEL.0274-62-1706

平成20年1月に制作したチラシを配布しています。
対象は、市町村や歯科医師会主催の事業への参加者、歯科医院の受診者などです。

(8)クリアファイルの利用 (平成20年度事業からの継続)

平成19年度の事業で制作したポスター3種類のデザインが、(株)アイ・メディカルから名入れ可能なクリアファイルとして発売された。

カタログは定期的に全国の歯科医院へ配布されている。商品として販売されることにより、フロリデーションの普及に関心がある人たちが簡単に利用できる状況になっている。

平成20年度に購入した「富岡甘楽歯科医師会」の名入りクリアファイルを、今年度も利用している。


i-Medical

新商品のご案内
 0120-82-5540

名入れクリアファイル新登場!!

名入れ可能な弊社オリジナルクリアファイルは、患者さまへのノベルティ、院外向けの書類入れなど、PRに効果抜群です!

トウモロコシプラザーズ
〜TOOTH BROTHERS〜

人気No.1トウモロコシプラザーズのクリアファイルです。
診療券やリコールカードと組み合わせてイメージを統一できます!



名入れ可能!!
100名
50名
25名



ブルー 100名
グリーン 50名
オレンジ 25名

フロリデーショニング

世界中の国々で行われている「水通水フックを徹底調整」。
日本での実施に向けて、ぜひご活用ください。



知っていますか? フロリデーショニング

歯の健康を維持するために、歯の表面を磨き、歯垢を落とすことが大切です。



知っていますか? フロリデーショニング

歯の健康を維持するために、歯の表面を磨き、歯垢を落とすことが大切です。



■名入れクリアファイル		ご注文方法	名入れ印刷色
200 枚	47,250 円 (税込)	枚数 2シリーズより1種お選びいただき、枚数をご指定ください。2シリーズ内であれば2種を組み合わせてのご注文も可能です。10枚単位でご注文ください。 印刷 印刷内容は掲載イラストを参考に、またはご自由に希望内容をご指定ください。印刷範囲は最大で100×150mmとなります。 送料 送料は別途ご要望の場合は、別途お見積もりのいたします。お見積にお問い合わせてください。 納期 名入れ印刷後おおよそ2週間程度となります。	印刷はホットスタンプ（熱押し）印刷となります。はりのうしろより色をお選びください。 クロ コン 濃グリーン
400 枚	71,400 円 (税込)		
1,000 枚	143,850 円 (税込)		

上記掲載品以外のオリジナルデザインでクリアファイルを作成することもできます。別途お見積もりのいたしますのでお気軽にご相談ください。

平成19年度の事業で制作したポスター3種類のデザインが、(株)アイ・メディカルから名入れ可能なクリアファイルとして発売されています。

商品として販売されることにより、フロリデーショニングに関心がある人たちが簡単に利用できるようになっていきます。

富岡甘楽歯科医師会は、平成20年度に購入した名入りクリアファイルを、引き続き利用しています。

(9) 富岡甘楽歯科医師会のホームページの充実

富岡甘楽歯科医師会のホームページを利用して、フッ化物利用とフロリデーションについての情報提供を行っている。

当会が発行したリーフレットの紹介と共に、公的機関の見解やフッ化物についてのQ & Aが掲載されているホームページを紹介している。



富岡甘楽歯科医師会のホームページを利用して、フッ化物利用とフロリデーションについての情報提供を行っています。

当会が発行したリーフレットの紹介と共に、公的機関の見解やフッ化物についてのQ & Aが掲載されているホームページを紹介しています。

(10) フッ化物洗口説明会を利用した啓発

富岡甘楽地区では、幼稚園、保育園のフッ化物洗口を継続していくために説明会を毎年開催している。

説明では、**フロリデーションが最も優れた公衆衛生的なむし歯予防法でフッ化物洗口は次善の策であること、フロリデーションがむし歯予防のためのフッ化物利用の原点であること等をきちんと説明している。**

平成22年

4月 5日 午前 歯科医師1名、歯科衛生士1名(南牧村)

4月22日 午後 歯科医師1名、歯科衛生士1名(富岡市)

4月22日 夜間 歯科医師1名、歯科衛生士1名(富岡市)

5月20日 午前 歯科医師1名、歯科衛生士1名(甘楽町)

平成23年

3月 9日 午後 歯科医師1名、歯科衛生士1名(下仁田町)

富岡甘楽地区では、幼稚園、保育園のフッ化物洗口を継続していくために、毎年、説明会を開催しています。

説明では、フロリデーションが最も優れた公衆衛生的なむし歯予防法であることを、きちんと説明しています。

厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」と共同で、富岡甘楽地区の1市2町1村でアンケート調査を実施した。平成22年4月から9月に、1歳から4歳の児を持つ保護者を対象にアンケート用紙を1,006人に配布し、934名(92.8%)から回答を得た。



**富岡富科産業科医歯学
厚生労働科学研究費「フッ素化合物の応用的研究」
研究科 富岡富科産業科医歯学事務局 (0274-62-1700)**

フッロリサーチの知識 (総論で解説！)

2.2 フッロリサーチのフッ素化合物の基礎知識

自然界の元素は、フッ素元素は ^{19}F と ^{18}F の2種類しかありません。

そのため、自然界で用いるフッロリサーチは、 ^{18}F 由来の ^{18}F フッ素化合物を指します。

^{18}F 由来の ^{18}F の割合はもともと ^{19}F より少ないので ^{18}F 富岡富科産業科医歯学に入ります。

結果として ^{18}F の割合が増えるためです。

例として、フッ素化合物のフッ素原子の置換率をここで示します。

ちなみに、置換率が低いフッ素 (フッ化率) 1% 入りの置換率は1000ppmです。

半分の入ったフッ素は1000ppm、10倍のフッ素は10000ppmが入っています。

フッロリサーチの知識は待っていますよ！

30

(12)ぐんま食育フェスタin富岡

富岡甘楽歯科医師会は、群馬県歯科衛生士会と共同で、「ぐんま食育フェスタin富岡」(平成22年11月21日、参加者数 約9,600人)の会場に、歯科保健コーナーを設け歯科保健全般についての啓発活動を行った。

その一環として、フロリデーション啓発用の風船とリーフレットの配布を実施した。



富岡甘楽歯科医師会は、群馬県歯科衛生士会と共同で、「ぐんま食育フェスタin富岡」の会場に、歯科保健コーナーを設け、歯科保健全般についての啓発活動を行いました。その一環として、フロリデーション啓発用の風船とリーフレットの配布を実施しました。

(13) 甘楽町「健康かんら21」

- 健康かんら21の再評価が実施され、今後10年間の計画が検討されている。
健康かんら21には、8項目の中の1つとして「**歯と口の健康（一生涯自分の歯で噛む健康人生 むし歯と歯周病を予防する）**」がある。その中の「町民を支える健康づくり」として「**生涯を通じたフッ化物の利用を推進するための環境整備**」という項目がある。
- 富岡甘楽歯科医師会は、「**生涯を通じたフッ化物の利用を推進するための環境整備**」の方法として、最善なのは**フロリデーションの実施であることを提言した。**
- そのために、当会が現在行っていることとして「**フロリデーションの啓発活動**」挙げ、今後できそうなこととして「**フロリデーソン実施のための支援、(専門団体としての協力・支援、大学・学会・専門団体との連携の調整)**」を挙げて協力を求めた。
- **平成24年4月、甘楽町長から「甘楽町健康づくり推進協議会」に諮問があり、現在「新健康かんら21」の計画を策定中。**

健康かんら21の再評価が実施され、今後10年間の計画が検討されています。
「歯と口の健康」には、「町民を支える健康づくり」として「生涯を通じたフッ化物の利用を推進するための環境整備」という項目があります。

富岡甘楽歯科医師会は、その方法として最善なのは、フロリデーションの実施であることを提言しました。

そのために、当会が現在行っていることとして「フロリデーションの啓発活動」挙げ、今後できそうな、フロリデーソン実施のための支援として、専門団体としての協力・支援、大学・学会・専門団体との連携を調整することを挙げています。

平成24年4月、甘楽町長から甘楽町健康づくり推進協議会に諮問があり、現在「新健康かんら21」の計画を策定中。答申の中に、フロリデーソンについて記載したいと考えています。

(14) 甘楽町第31回健康祭でフロリデーション啓発を実施

会場でポスターの掲示、リーフレットの配布、フロリデーション啓発用の風船の配布等を実施 (平成22年11月28日)



甘楽町第31回健康祭の会場でポスターの掲示、リーフレットの配布、啓発用の風船の配布等を実施しました。

(15)下仁田町フロリデーション推進会議主体の主な活動

①下仁田町の夏祭り(下仁田町商工会主催)に参加 平成22年8月14日

夏祭り会場において、フロリデーション推進会議のコーナーを設け、フロリデーション啓発用風船の配布、リーフレットの配布、ポスターの展示、フロリデーション水の試飲、厚生労働科学研究班制作のDVDの上映等の啓発活動を行った。フロリデーションのイラスト入りのユニホームを着用しているのが、推進会議の会員である。

②定例会の開催

下仁田町フロリデーション推進会議は、下仁田町内の会員を中心に毎月定例会を開催し、会員の知識向上に努めている。

③フロリデーションのイラスト入りユニホーム

フロリデーション啓発活動時に使用するユニホームを手作りで作成して着用している。夏祭りの写真を参照。

④町長、議員等への働きかけ

下仁田町長や下仁田町議会議員に時々面談を求め、住民の立場からフロリデーション推進について要望を行っている。

下仁田町フロリデーション推進会議は、夏祭り会場にコーナーを設け、風船の配布、リーフレットの配布、ポスターの展示、フロリデーション水の試飲、厚生労働科学研究班制作のDVDの上映等の啓発活動を行いました。また、毎月定例会を開催し、町長や議員に対する働きかけも行っています。

下仁田町商工会主催の夏祭りへ参加 平成22年8月14日



夏祭りの様子です。
フロリデーションのイラスト入りのユニホームを着用しているのが、推進
会議の会員です。

(16)下仁田町保健センターに設置されたフロリデーションモデル装置の利用

- 平成17年度に厚生労働省科学研究班の技術支援を受けた「**フロリデーションモデル装置**」が完成し、下仁田町保健センターに設置されている。
- 1階と3階のホールに設置されたウォータークーラーや2階の調理室でフロリデーション水を利用することができる。
- **下仁田町内の10施設**(歯科医院3、薬局3、接骨院1、蒟蒻業1、いこい処1、飲食店1)で、希望者がフロリデーション水の試飲を体験できる体制が整っている。
- 歯の健康フェア、健康祭、講演会、研修会、夏祭りなどの各種事業を利用して、フロリデーション水を希望者に提供している。
- 日本国内でフロリデーションが未実施の状況では、フロリデーション水を気軽に体験できるモデル装置は、住民がフロリデーションを理解する上で効果的である。

フロリデーションモデル装置が下仁田町ふれあいセンターに設置され、1階と3階のホールにあるウォータークーラーや、2階の調理室で利用できるようになっています。また、下仁田町内の歯科医院、薬局など10施設で、希望者がフロリデーション水を体験できる体制が整っています。

さらに、歯の健康フェア、健康祭、講演会、研修会、夏祭りなどの各種事業を利用して、フロリデーション水を希望者に提供しています。

日本国内でフロリデーションが未実施の状況では、気軽に体験できるモデル装置は、住民が理解する上で効果的だと考えています。

(17) 下仁田町保健センター主体の主な活動

①下仁田町区長会の開催時にフロリデーション説明会を開催

日 時 平成22年10月18日(月) 午後1時

講 師 日本大学松戸歯学部教授 小林清吾先生

参加者 区長(全員参加) 31名、課長(全員参加) 15名

金井町長、高木教育長

議員(議長、総務委員長の2名)、町職員 4名

参加者計 54名

②平成23年度歯科保健事業打合せ会議

平成23年2月21日(月)に開催

出席者 歯科医師、歯科衛生士、保健環境課職員

③平成23年度フッ化物洗口説明会

平成23年3月9日(水)に回開催

対象 小学校新入学生、保育園の年中・年長児の保護者

下仁田町の主催で、区長会のおきフロリデーション説明会を開催しました。
講師は、厚生労働科学研究班の 小林教授 にお願ひしました。
町長、教育長のほか、課長と区長の全員が参加しました。

(18)「甘楽富岡学校歯科保健だよりNo.14」の配布

平成22年7月1日に、甘楽富岡学校保健会・学校歯科医部会が発行した「甘楽富岡学校歯科保健だよりNo. 14」において、フッ化物利用について詳しく解説した。その中で、フロリデーションについても解説を加えた。学校歯科保健だよりは、富岡甘楽地区の小学校・中学校・高等学校に通う児童生徒を介して、保護者全員に配布した。配布数は約8,000である。

平成22年7月に、学校歯科医部会が発行した「甘楽富岡学校歯科保健だより」で、フッ化物利用について詳しく説明しました。

当然、フロリデーションについても解説を加えました。

学校歯科保健だよりは、小学校・中学校・高等学校に通う児童生徒を介して、保護者全員に配布しました。配布数は約8,000です。

地域みなさんは、むし歯予防の フッ化物(フッ素)利用をどう考える

- このアンケート調査は、市町村の協力を得て、**富岡甘楽歯科医師会と厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」**に所属する大学関係者が共同で実施しました(平成22年4月から9月に実施)。
- 対象者は、**富岡市、甘楽町、下仁田町、南牧村**にお住いの**1歳から4歳のお子様を持つ保護者の方々**です。
- アンケート用紙を**1,006人**に配布し、**934名(92.8%)**の皆様にご回答いただきました。

アンケート調査の結果について簡単に説明します。

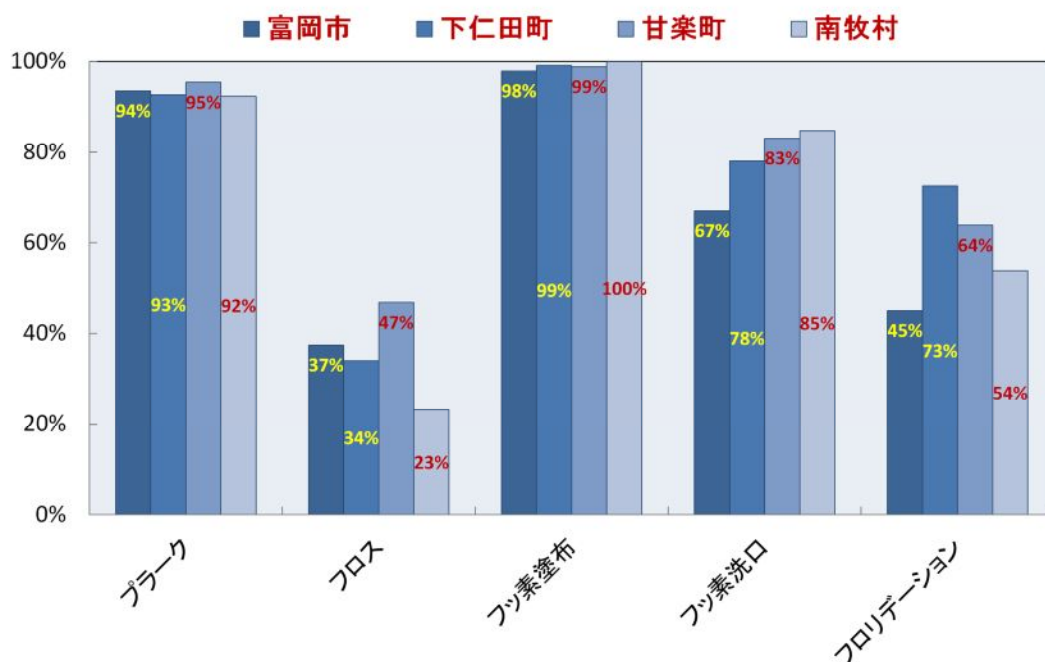
対象者は、1歳から4歳の子供を持つ保護者で、富岡市は約半数を、その他の町村は全員を対象にアンケート用紙を配布しました。

質問票配布とその回収率

	配布枚数	回収枚数	回収率
富岡市	495	480	97.0%
甘楽町	349	330	94.6%
下仁田町	147	111	75.5%
南牧村	15	13	86.7%
合 計	1006	934	92.8%

保健師の協力により、92.8%と非常に高い回収率になりました。

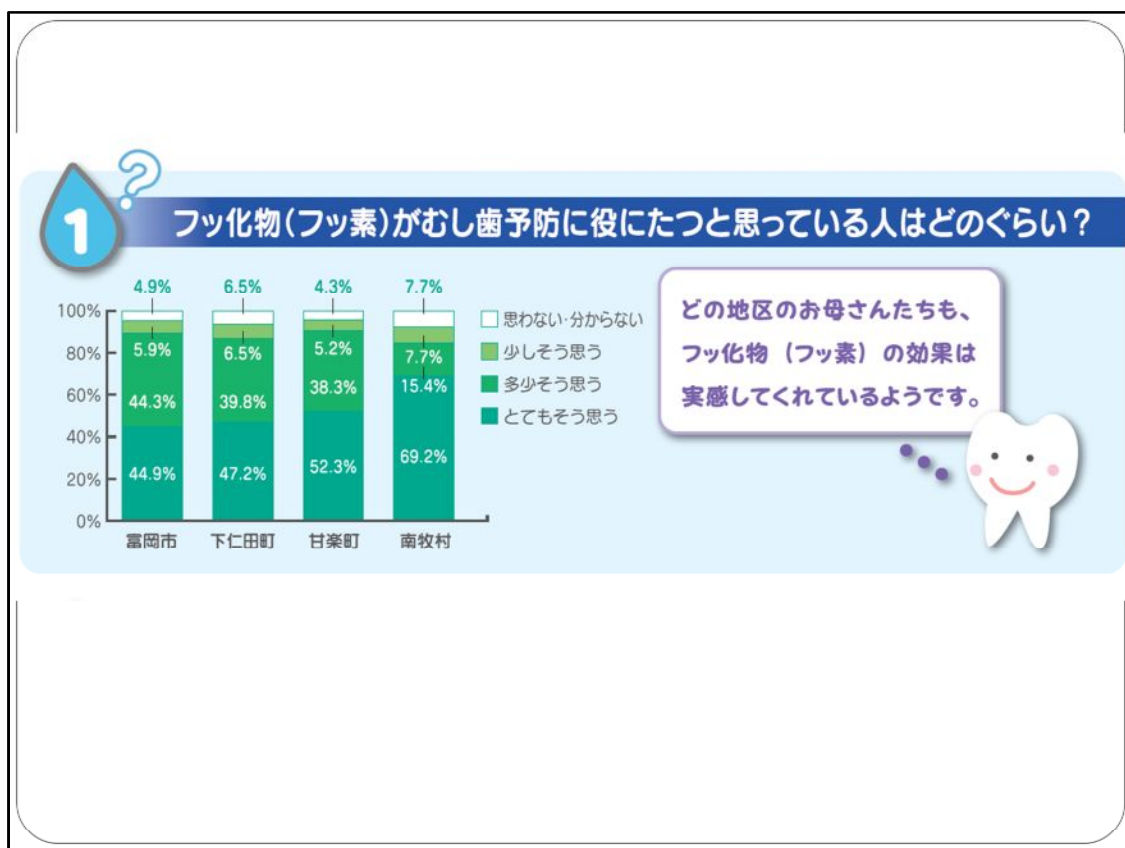
富岡甘楽地区における保護者の認知度



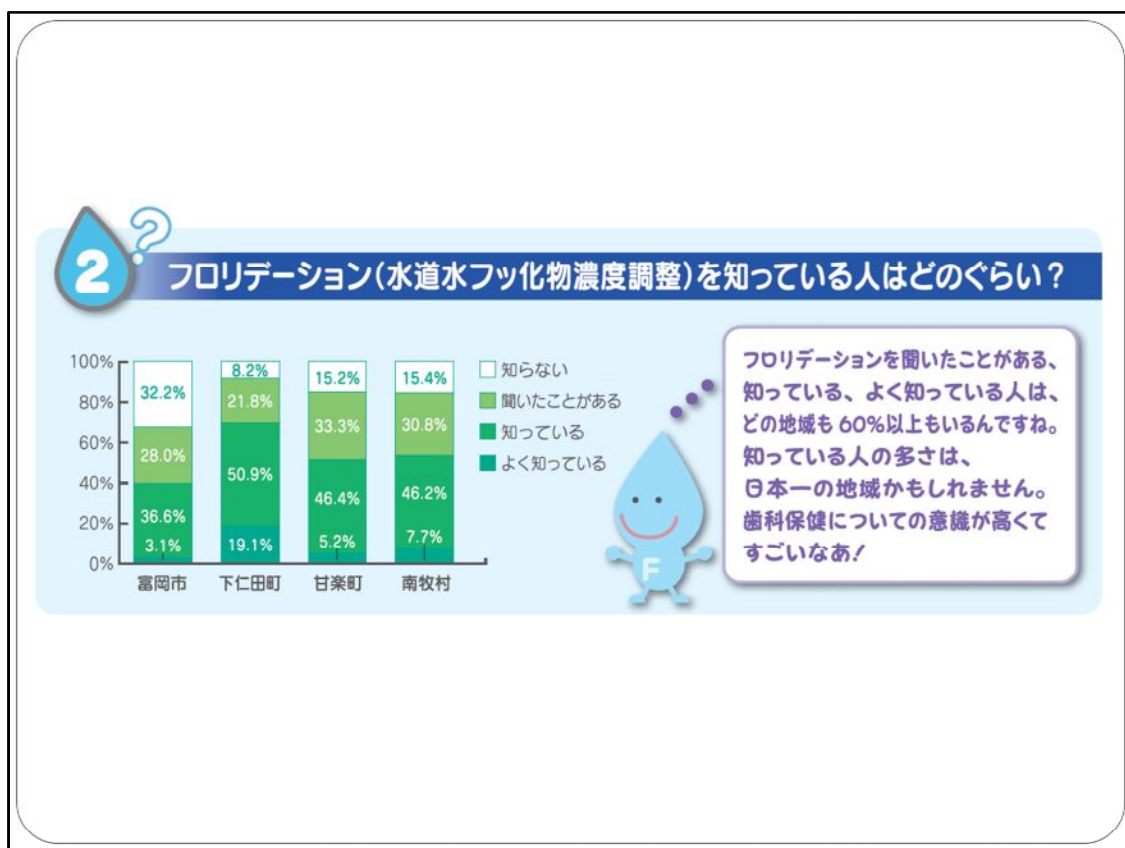
保護者に、知っている言葉に丸をつけてもらう複数回答式の質問からの抜粋です。
フッ化物洗口とフロリデーションについても認知度が高いことがわかります。

某政令都市の3歳児健診を受診した児の保護者を対象にした同じ内容の調査では、
フッ化物洗口について知っている人は17%、フロリデーションについてはわずか 0.7%
でした。

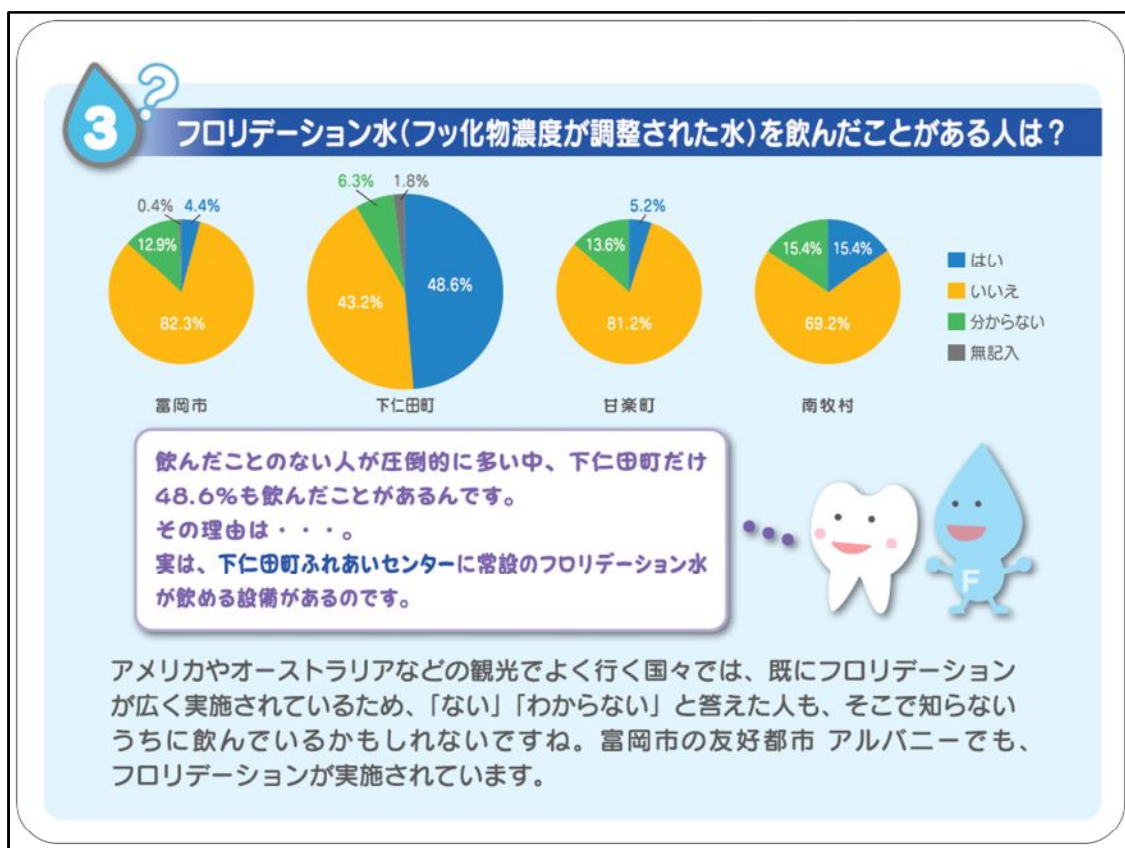
歯科医師の取り組みしだいで、住民の基本的な歯科知識は変化するということが分か
ります。



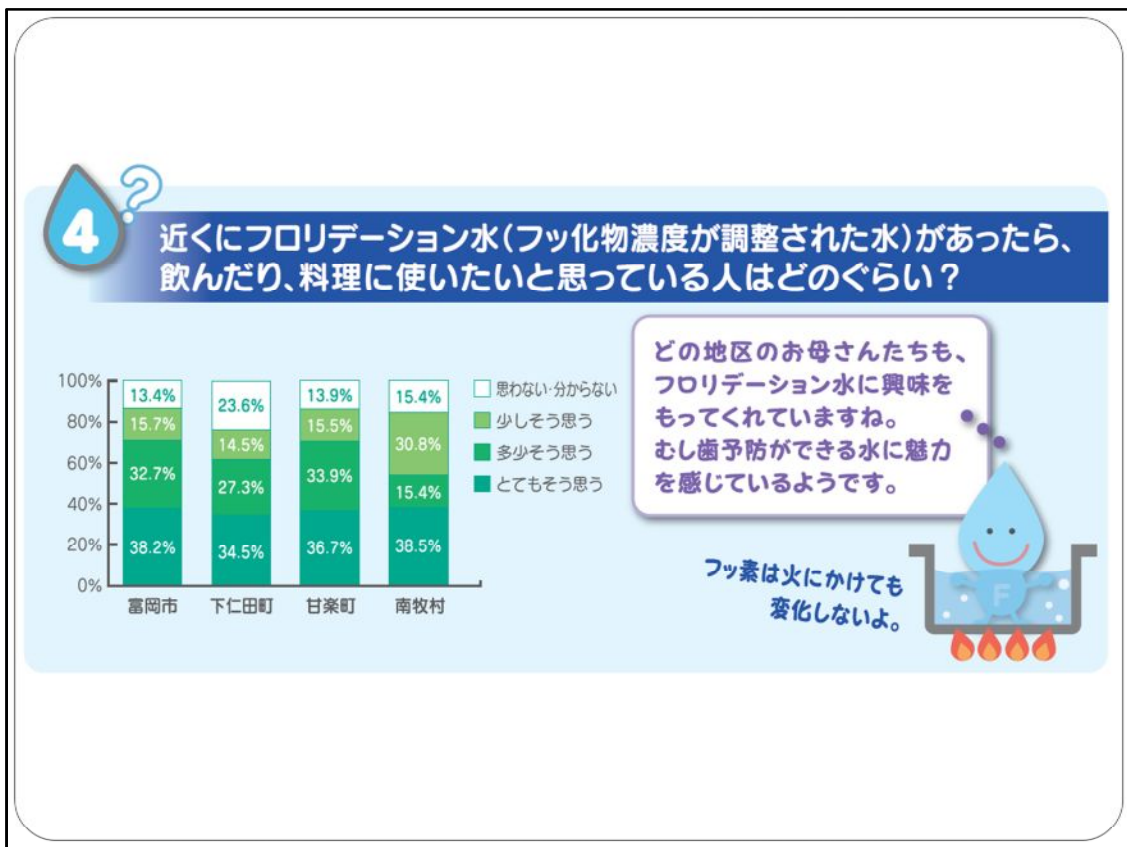
1歳から4歳の子供を持つ保護者の9割以上が、フッ化物利がむし歯予防に効果があると実感しています。



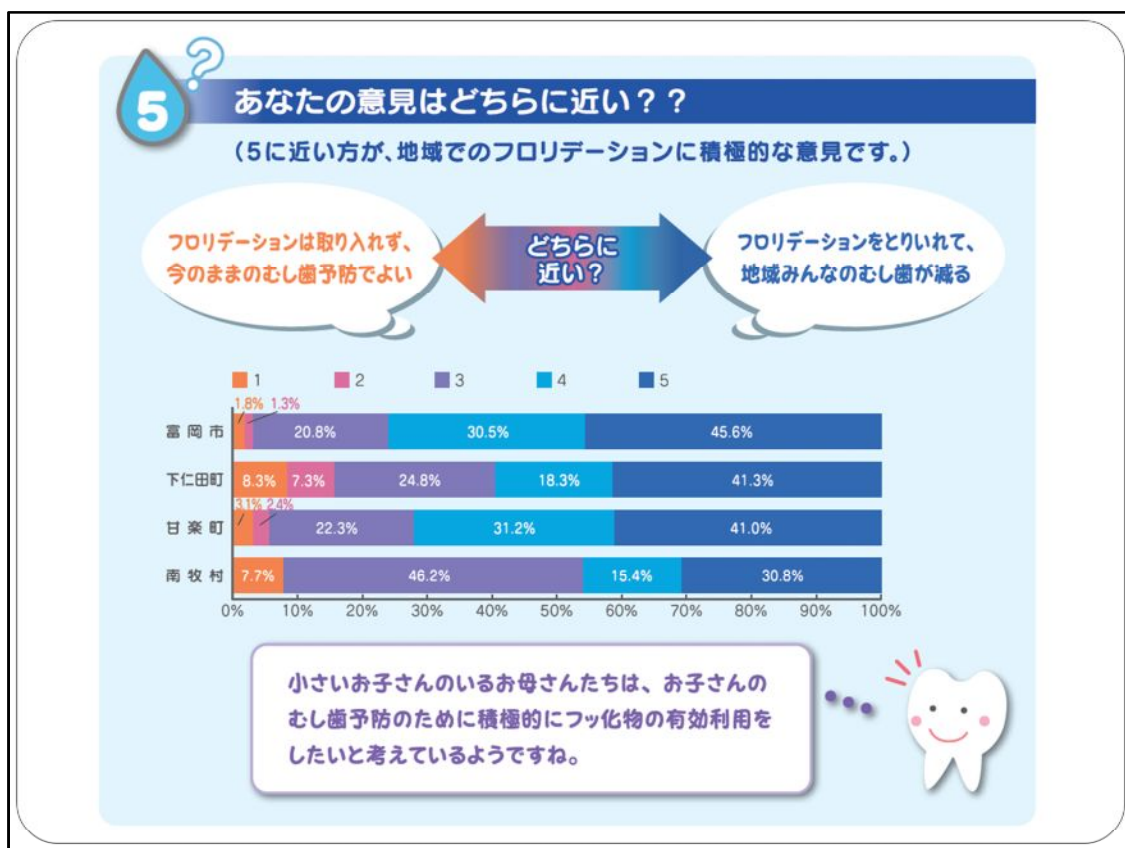
フロリデーションについて、よく知っている、知っている、聞いたことがあると回答した人は全体の70%を超えており、フロリデーション推進活動が長期間行われてきた下仁田町では、知らない人は8%程度でした。



フロリデーション水を飲んだ経験がないと答えた人が圧倒的に多い中で、下仁田町だけが半数近くが飲んだことがあると答えています。
これは、下仁田町ふれあいセンターに常設のモデル装置があるためです。



どの地区の保護者もフロリデーション水に興味を持ち使ってみたいと考えています。むし歯予防ができる水に魅力を感じているようです。

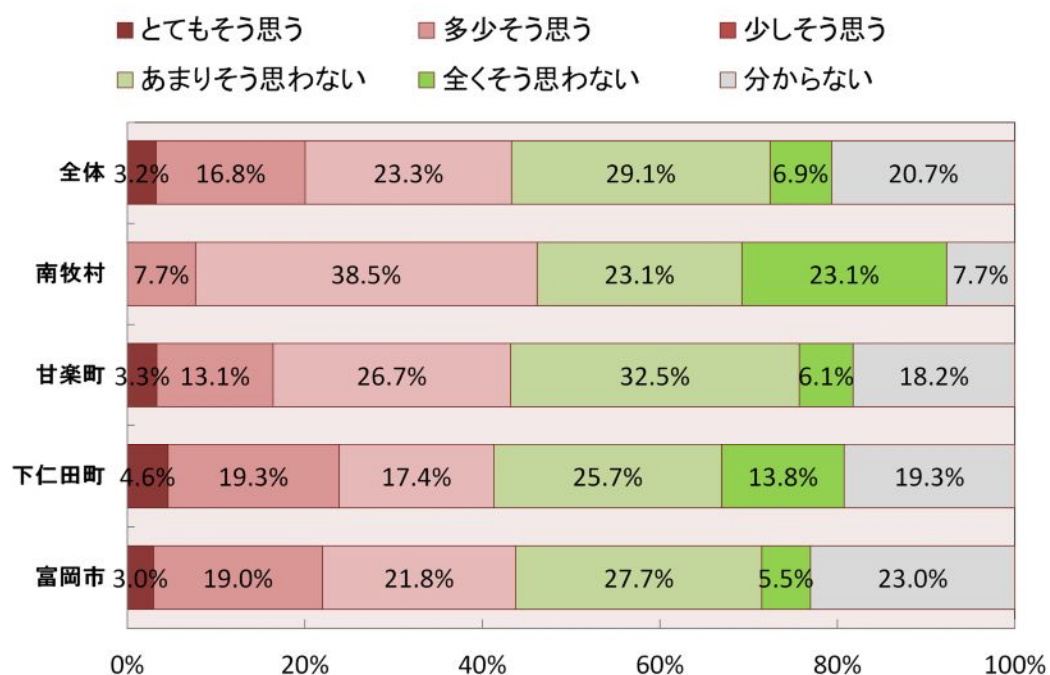


フロリデーションへの意欲について、たずねました。

「地域でフロリデーションを取りいれてみんなのむし歯が減る」という意見に強く賛成する人が半数近くいます。

フロリデーションを知り、興味を持ち、地域で取り入れてみたいと感じている人が多いことが分かりました。

あなたは、フロリデーションに関して心配だと感じますか？



「フロリデーションを取り入れてみたい」と思う一方で、まだまだ心配だと感じている住民もいます。

むし歯が予防できるならやってみたいが、日常的に使う水が変化することに対して、不安を感じるのは当たり前のことだと思います。

平成 22 年度厚生労働科学研究報告

フロリデーションに関する住民の認知度調査

研究代表者	荒川 浩久	(神奈川歯科大学 口腔衛生学)
分担研究者	小林 清吾	(日本大学松戸歯学部 公衆予防歯科学)
分担研究者	岡本 浩一	(東洋英和女学院大学 人間科学部)
協力研究者	古川 清香	(鶴見大学歯学部 地域歯科保健学教室)
	鶴本 明久	(鶴見大学歯学部 地域歯科保健学教室)
	萩原 吉則	(富岡甘楽歯科医師会)
	相田 潤	(東北大学大学院歯学研究科 国際歯科保健学分野)
	安藤 雄一	(国立保健医療科学院 口腔保健部)
	佐久間 汐子	(新潟大学医歯学総合病院 口腔生命福祉学科)
	田浦 勝彦	(東北大学病院 予防歯科)
	筒井 昭仁	(福岡歯科大学 口腔健康科学分野)
	八木 稔	(新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科)

アンケート調査の詳細については、報告書が富岡甘楽歯科医師会のホームページにも掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

実施後の評価(今後の課題)

- 富岡甘楽地区では、市町村の協力によりリーフレットを全世帯に配布するなど、フロリデーションについての情報を継続的に提供できる体制が整備されている。
- その結果、フロリデーションについてある程度の知識を持つ住民は、富岡甘楽地区全域で毎年確実に増加している。
- フロリデーションについて正確な知識を持つ人は、その実施についても肯定的な意見を持つ場合が多いので、今後も正確な情報を提供し啓発活動を継続していく必要がある。
- 今後、国や県の積極的な支援があれば、フロリデーションを実施するための環境が整うと考えている。

今後の課題です。

富岡甘楽地区では、市町村の協力によりリーフレットを全世帯に配布するなど、フロリデーションについての情報を継続的に提供できる体制が整備されています。

その結果、フロリデーションについてある程度の知識を持つ住民は、富岡甘楽地区全域で毎年確実に増加しています。

フロリデーションについて正確な知識を持つ人は、その実施についても肯定的な意見を持つ場合が多いので、今後も正確な情報を提供し啓発活動を継続していく必要があります。

今後、国や県の積極的な支援があれば、フロリデーションを実施するための環境が整うと考えています。

公益社団法人富岡甘楽歯科医師会の公益目的事業

- 1.休日救急歯科診療事業
- 2.障害者(児)歯科診療事業
- 3.歯科訪問診療事業
- 4.在宅歯科医療連携室事業
- 5.地域歯科保健協力支援事業
- 6.地域の歯科保健の向上及び住民が受ける歯科保健サービスの充実を目標とした住民 および関係職種・歯科医療職を対象とした研修会講演会等開催事業
- 7.歯の健康フェア事業
- 8.母子及び児童生徒を対象に健康な口腔を維持していることや歯科保健に対する関心の高さを審査し表彰することで歯科保健の普及啓発を目的としたコンクール事業
- 9.住民のむし歯予防を目的に最良の公衆衛生的な対策である水道水フッ化物濃度調整(フロリデーション)を啓発する事業**
- 10.永久歯の完成期である児童生徒に歯科保健の重要性を伝え、一生の歯科疾患予防を目的とした学校保健会事業
- 11.歯科保健の向上を目的として広く一般の人に歯科保健の重要性を周知するための広報啓発活動事業
- 12.災害時救急歯科診療事業

富岡甘楽歯科医師会は、今年4月から公益社団法人に移行しましたが、公益目的事業には、「フロリデーション啓発事業」が明記されています。

世界におけるフロリデーションの現状

現在、世界中で4億5000万人がフロリデーションの恩恵を受けています。そのうち少なくとも3億5000万人が浄水場でフッ化物濃度を調整した水道水を利用し、5000万人以上が天然の適正濃度の水道水を利用しています。

フロリデーションを実施している国は、オーストラリア、ニュージーランド、米、カナダ、イギリス、アイルランド、スペイン、イスラエル、ブラジル、チリ、アルゼンチン、コロンビア、中国香港行政区、韓国、シンガポール、マレーシアなど約60か国です。

米国ではフロリデーションの普及拡大が今も継続

米国は1945年に世界で初めてフロリデーションを実施した国です。フッ化物濃度が適正に調整されている地域の人口は、1992年の62.1%から2000年には65.0%と増加し、2008年には72.4%、1億9500万人となっています。

そのうち約800万人は天然の適正濃度の水道水を利用しています。現在、フロリデーションは、米国の50大都市のうち47都市で実施されています。また、人口100万人以上の都市は、すべてフロリデーションが実施されています。

水道水以外でフロリデーションを実施する方法

スイス、フランス、オーストリア、ドイツ、ハンガリー、中央アメリカ諸国および南アメリカ諸国でも、フッ化物スロバキア、ペルーなど、多くのヨーロッパ諸国でフッ化物添加食塩が広く利用されています。

また、中央アメリカ諸国および南アメリカ諸国でも、フッ化物添加食塩は広く使用されています。

口腔保健とフッ化物利用についての情報を詳しく知りたい方は下記のホームページをご覧ください。

水道水フロリデーション、フッ化物塗布、フッ化物配合歯磨剤、フッ化物歯肉塗布など、フッ化物利用全般について詳しく解説されています。また、国内外の専門機関や学会などの見解もまとめてありますので、フッ化物利用について知りたい方はぜひご覧ください。

厚生労働省ホームページ「e-ヘルスネット」歯の健康
<http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth/tb-01-005.html>
 (e-ヘルスネットは、厚生労働省が一般の方を対象に正しい健康情報をわかりやすく提供するために開設したサイトです。)

日本歯科医師会ホームページ テーマパーク 9020「口腔保健とフッ化物の応用」
<http://www.jda.or.jp/park/prevent/index05.html>

富岡甘楽歯科医師会のホームページ
<http://www.tkda.jp/>

公益社団法人 富岡甘楽歯科医師会
 群馬県富岡市七日市640-1 TEL: 0274-62-1706 E-mail: tkda@tkda.jp

富岡甘楽歯科医師会の「フロリデーションについての啓発活動」は、平成19年度から23年度まで5年連続で、公益社団法人9020推進財団の歯科保健活動事業助成を受けています。
 この度、平成22年度の事業が「歯の健康と笑顔」に認定されました。

発行日：平成24年4月1日



一生自分の歯で 食べるために

監修 厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」
 発行 公益社団法人 富岡甘楽歯科医師会

今年も歯の衛生週間に平成23年度の事業で制作したリーフレット「一生自分の歯で食べるために」を広報と一緒に全世帯に配布しました。



フロリデーション 水道水フッ化物濃度調整



歯の健康のため、水道水中に、天然にある
フッ化物イオン濃度を
最適な濃度(約1ppm)に調節すること。

～フロリデーションはフッ化物応用の原点である～



既に60か国以上で実施され、
世界中で4億人以上が恩恵。

日本でも、むし歯予防にフッ化物利用は常識になっていると思いますが、なぜかフロリデーションだけが特別扱いにされている感じがします。

本来、フロリデーションはフッ化物応用の原点であるはずですが、日本では意図的に情報が制限されているようにも見えます。

日本においても、きちんと情報を提供して、その情報をもとに住民が選択できるようにする必要がありますと考えます。



ご清聴いただきありがとうございました。

370-2343 群馬県富岡市七日市640 - 1
公益社団法人富岡甘楽歯科医師会
TEL 0274-62-1706 FAX 0274-64-1646

ご清聴いただきありがとうございました。